

富山湾の岸から水深15mほどまでの岩の多い所（岩礁といいますが）や離岸堤ブロックなどに、緑や赤、茶色の海藻がよく生えています。

大きな海藻が森をつくっているところもあります。海藻の森が見られるのは、県東部の滑川市から朝日町にかけてと県西部の県内随一の岩礁地帯である氷見市から能登半島にかけてです。一方、県内各地の砂地にはアマモの草原が広がり、砂と石が混ざったところではマクサなどの海藻が草原をつくっています。アマモは花を咲かせる種子植物で、海藻に対して海草とよばれます。

新展示では、富山湾に生える代表的な海藻や海草を、実物標本や実物大の標本写真、生態写真で紹介しています。海の中で森や草原をなす海藻や海草の大きさ、その色や形の多様さを見ていただければと思います。

#### 富山湾の海藻は暖流系

日本には約1400種類の海藻が生え、そのうち富山湾には300種類近くが生育しています。富山湾は水深300m以深に日本海固有冷水（深層水）がありますが、より浅い所には対馬暖流の水が流れ込んでいます。そのため、生育する海藻は暖流系の種類で、寒流に生えるコンブなどは見られません。種類は豊富で、日本海特産のツルアラメや希少なホソエガサなども生育しています。海藻の漁や養殖も行われており、ワカメ、カタノリ、モズク類、寒天の材料となるマクサやオバクサやエゴノリなどが採られています。

海藻は体の色で3つのグループに分けられます。緑色の緑藻、赤色の紅藻、茶色の褐藻です。緑藻はフサイワズタやアナアオサ、ミルなどです。紅藻でよく知られているのは、寒天の材料になるマクサ（近縁種を含めてテングサと総称されます）やエゴノリ、サラダになるトサカノリでしょう。また、石灰分を多く含む体がかたくもろい紅藻は、サンゴモ類あるいは石灰藻とよばれます。褐藻にはハバノリやワカメ、モズク類、ツルアラメ、大きな体のアカモクなどのホンダワラ類があります。海藻の寿命は、一年生、多年生と様々で、多くは冬から早春にかけて生長し、夏から秋には一年



ホンダワラ類の森



アマモの草原とアマモの花（右上）

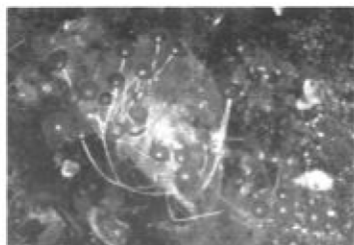
生のものは枯れ、多年生のものでも生育はよくありません。

#### 森をつくるホンダワラのなかま

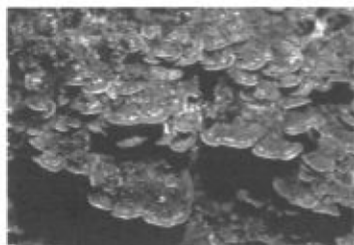
よく発達した森は階層をなし、ホンダワラ類が数～10mを超える高層をつくっています。下層にはクロメやツルアラメ、その下草にマクサなど、さらに岩礁をおおうようにサンゴモ類が生えています。ホンダワラ類は長さが10m近くあっても、海流や波のある海中で常に上に向かって立っています。これは、葉が変形した気胞を持つおかげです。気胞は、中の空気によって浮力が働いたため、根を張っている基質の岩からひよろ長い体が真上に立



マメタワラの気胞



ホソエガサ



クサノカキ



サンゴモ



2階「海」のコーナーで展示される海藻。左からアカモク（メスの枝の一部）、アカモク（オス）、ツルアラメ、ワカメ

つのです。

アカモクは、秋から生長し初夏に枯れる1年生にもかかわらず、長さが10mを超えて樹木になることもある、ホンダワラ類の中でも大きな種類です。アカモクの森は冬から春にできあがり、夏に枯れると岩から離れて大量の流れ藻になります。

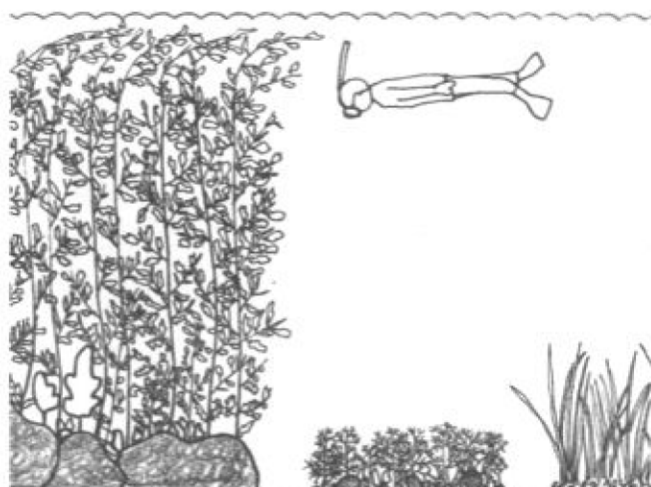
#### 海の小さな生き物たちを育む

海藻の森や海草の草原、さらに流れ藻は、小動物や

小さな魚、稚魚にとっての大切な生活場所であり、また多くの魚の産卵場所にもなっています。森や草原があるのは岸から3kmも離れない沿岸部という大変狭い範囲ですが、多くの小さな生き物や海の生態系の中で重要な役割を担っています。



海藻にすむヨコエビの仲間  
(水中写真提供(8点とも):  
大田希生氏)



ホンダワラ類の森

海藻の草原

アマモの草原

#### 参考文献

- 藤田大介, 1991, 富山県沿岸産海藻目録 (2001年改訂版), 富山県水産試験場報告13号, 1-18.  
藤田大介・濱田仁・渡辺信, 1994, 富山の藻類, 富山県水産試験場, 富山, pp.62.  
藤田大介・小善圭一, 2002, 富山湾の漁場環境(2001)—水質・低質・藻場— 富山湾漁場環境総合調査報告書, pp174, 富山県水産試験場, 富山.

「とやまと自然」第30巻第2号(夏の号)(通算118号)平成19年7月1日発行  
発行所 富山市科学文化センター 〒939-8084 富山市西中野町1-8-31  
TEL 076-491-2123 FAX 076-421-5950 <http://www.tsm.toyama.toyama.jp>  
富山市天文台 富山市三熊49番地-4 TEL 434-9098 FAX 434-9228  
発行責任者 市村 昇 印刷所 あけぼの企画株式会社 TEL 424-1755